

*** 東京天文台航空写真2枚(東京天文台100周年記念誌資料1-22、23)**

東京天文台100周年記念誌資料の整理をやっている。今回はアーカイブ室新聞第346号(2010年6月9日)の東京天文台100周年記念誌作成時の資料—その1—の

22) 26インチドーム航空写真(カラー)

23) 新本館航空写真(カラー)2枚

と書かれた写真3枚である。3枚だが23)は同じ写真が2枚なので紹介する写真は2枚である。東京天文台の航空写真はいくつもあるが、これらの2枚は今まで公表されたことがないように思う。



写真1

写真1は、26吋(65cm)望遠鏡ドームを撮影したものだが、昭和40年代の様子がよくわかる。65cm望遠鏡ドームの右に写っているのは旧図書館である。西に3階の建て増しが行われているが、この建て増しが行われたのは昭和36年である。現在ではこの建物には雨漏りがひどくなり、屋根全体を覆う屋根が新たに被せられているがその屋根はない。ドームの上にはテニスコートが写っているが現在では2面あるが1面である。テニスコートの左肩にはレプソルド子午儀室が写っており、その斜め右上にはPZT(写真天頂筒)の建物が見える。その右手一番端に卯酉儀室が写っている。卯酉儀室というのが、卯酉儀が入っていた写真は見たことはない。PZTの右斜め上には地震研究所の建物といわれた比較的大きな木造の建物があり、すぐそばには今は大木になっている「モミの木」が写っている。またこの写真上方右手には当時の畑の様子が見える。レプソルド子午儀の左、現在のTAMA300

の光路が走っているところにはポプラ並木が見えている。ポプラはここだけで10本近く見える並木である。



写真 2

写真 2 は、完成まもなくの北研究棟・管理棟である。おそらくこの写真は、北研究棟、管理棟完成を記念して撮った航空写真と思われるから、この写真の撮影年は1966年であろう。管理棟の屋上に見える白い点は、将来、管理棟の上、2階に講堂を建設するための基礎が作られていた。管理棟の上に見える平屋の木造の建物は、天文時部の保時課・報時課の入っていた建物で、この2つの課は旧三鷹報時所にいた天文時部経度課とともに天文時部すべてが北研究棟に移ったので、まもなく取り壊された。この時点では南研究棟はなく、この左手に本館(一)と呼ばれた長い木造本館が建っていた。北研究棟の右の茶色の屋根の比較的大きな建物は職員食堂として使われていた建物で、まもなく東大生協天文台支所、卓球室などとして使われた。

このように文章として書いても、理解しにくいので、写真を再録して書き込みで説明しておこう(写真3、4)。



写真 3



写真 4

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp